

# 会 議 録

## 1 会議名

平成 27 年度第 1 回上越市女性サポートセンター運営委員会

## 2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 委員長・副委員長の選出について（公開）
- (2) 平成 27 年度事業について（公開）
- (3) 平成 28 年度事業計画について（公開）
- (4) その他について（公開）

## 3 開催日時

平成 27 年 10 月 5 日（月）午後 1 時 30 分から

## 4 開催場所

高田地区公民館 第 5 研修室

## 5 傍聴人の数

0 人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：阿部和子、片所真理子、齊京貴子、中島恒光、上原みゆき
- ・ 事務局： 大山課長、金井主任、大坪主事

## 8 発言の内容

### (1) 委員長・副委員長の選出について

委員の互選により、委員長は阿部和子氏、副委員長は上原みゆき氏に決定。

### (2) 平成 27 年度事業について

※事務局より一括説明

○質疑・意見等

中島委員：女性講座は定員 20 名となっているが、会場の関係なのか。せっかく講座を行うのであれば、多く設定してよいと思う。また、平日の午前中の時間設定の講座が多いが、主な対象はどのような方を狙ってい

るのか。広く一般の方を集めるのであれば、平日夜や休みの日に設定してはどうか。

事務局：定員を20名としているのは、会場の広さの関係である。ただし、定員を超えて申込みがあった場合でも、講師と相談の上、対応可能な範囲で上限を増やしている。あまりにも申込み人数が多いという場合には、抽選させてもらう。次に講座の対象と開催時間帯であるが、「家計と暮らし講座」と「女性のためのリフレッシュセミナー」は、子育て中の方を主な対象としたいと考えており、平日昼間の開催としている。普段の家事や育児から離れ、気持ちをリフレッシュしたり、学びを通じた仲間づくりを図りたいと考えている。「女性講座」に関しては、現段階で日時はまだ決定ではないため、意見をもらいたい。

片所委員：7～10月のいい時期に講座ができていない。冬場は雪で駐車場も狭くなるため、今年度は仕方ないかもしれないが、もっと早い時期に開講すべきと思う。

委員長：過去においては秋が講座の中心の時期となるが多かった。土日は他の講座やイベントが多い。別の大きな催しとぶつかると人は集まらないこともある。中身が良ければ人は集まると思うので、よく検討してもらいたい。

事務局：曜日や時間ができる限り固定しないよう、平日・土日など織り交ぜて企画したい。

委員長：「女性講座」については、昨年度はタイトルなども委員で考えたが、今年度はどうか。

事務局：「前向きに『働くこと』を考える」というタイトルは、昨年度委員で考えたタイトルであった。せっかく考えたタイトルのため、今年もそれを生かした案である。

委員長：今年度も昨年度のものを引き続き行うというのもよいと思う。

齊京委員：「女性講座」で内容がマナーのものについて、昨年度の「マナー講座」では平日午前の開催で多くの人が参加しており、おそらく子育て中の人が多かったものと思われる。今年度の計画では、平日夜の案となっている。時間も午後6時30分からというのは、子育て世代が一番出にくい時

間であると思う。今回は誰をターゲットとしているのか。また、内容の面も、昨年度来た方をあてにするのであれば、ビジネスの場でのマナーは必要なのか疑問がある。会社の研修などでビジネスマナーは学ぶはずなので、特段必要はないようにも思う。

委員 長：昨年度のマナー講座はどのような方が受けていたのか。

事務局：子育て世代が多く、保育ルームの申込みも多数あった。また子育てを終えてお孫さんがいる、という世代の方も受講していた。

委員 長：マナーという内容で人が集まったのは、少し意外だったように思う。実生活でそのような内容も必要と思われていたのだろうか。

齊京委員：「女性講座」はターゲットを定めて、内容・日時を決めていったほうが良いように思う。

片所委員：「女性講座」の趣旨とターゲットはどのようなものか。

事務局：計画では、女性が能力を発揮している現場を通して自分らしい生き方や働き方を学ぶという趣旨があり、今働いている方やこれから働きたいという意欲のある方をターゲットとしたいと考えている。

委員 長：これから働きたいと思っている人も主な対象であれば、平日昼間の開催のものがあってもいいと思う。マナーが内容のものは平日昼間の開催でよいか。

(一同、異議なし)

委員 長：内容の面で、できればもう一步前に出て、働き方に関して考える機会があってもいいと思う。非正規で働く方も多い中、いかに働くか、という講座があってもいいように思う。

事務局：内容面で講師と相談をし、働き方に関する考えを深められるようなものも可能な限り取り入れていきたい。

上原委員：働き方を学ぶということで、昨年度の講演会形式の「女性講座」は、土曜日の午後に行った。また、そのことで男性の方の参加もあった。

委員 長：12月頃となれば、多くの催しはほとんど終わる。講演会形式のものは土曜日午後でよいか。

(一同、異議なし)

(3) 平成 28 年度事業計画について

※事務局より一括説明。

委員 長：専門的なものは男女共同参画推進センターの方でも開いていると思うが、「女性講座」では DV の問題など、これまで取り上げてこなかったものはどうか。高校生でもデート DV などもある。ちょっと難しいものをわかりやすく学ぶ、ということも大事と思う。実際苦情や相談も多い。そのような切り口から勉強してもいいと思う。

上原委員：すべての人が知っておくテーマであると思う。知らないことも、どのような問題があるか、ということを知っておく、ということも有意義であると思う。いじめやパワハラなどは、働くための意欲やバランスを崩す、ということもある。人間関係を含めて、人と人とのかかわりのようなことも学べるといい。

中島委員：必要であれば、県の方から事例の報告や講師の派遣を検討することもできる。

委員 長：「女性のためのリフレッシュセミナー」はまず健康でなければ何もできないということもあるので、健康づくりという内容になるか。

事務局：健康づくりに特化しているわけではないが、心身の健康ということで、生活を見直すことや、暮らしの中で生かせることを取り入れ、仲間づくりも図っていきたいと考えている。今回は平成 28 年度事業計画の方針の検討であるため、具体的な講座内容については、次回会議にて案を示したい。

(4) その他について

委員 長：意見等ないか。

(一同、意見等なし)

9 問合せ先

上越市教育委員会社会教育課 TEL：025-545-9245

E-mail：shakaikyoku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。